

1 1. 学校関係者評価

2 0 1 7 年度（平成 2 9 年度）

# 学校関係者評価報告書

2 0 1 8 年（平成 3 0 年）7 月 3 1 日

学校法人 中村学園

ジェイ ヘアメイク専門学校

## 1 学校関係者評価

### (1) 目的

①自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高めること。

②学生・卒業生、関係業界、専修学校団体・職能団体・専門分野別の関係団体、中学校・高等学校等、保護者・地域住民、

所轄庁・自治体の関係部局など、専修学校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ること。

### (2) 定義

学生・卒業生、関係業界、専修学校団体・関係団体、中学校・高等学校等、保護者・地域住民、所轄庁等の学校関係者

などを学校自らが選任し、構成された評価委員会等が、自己評価の結果について評価することを基本として行う評価

### (3) 評価者

学校と直接関係のある学校外の者を評価者とする学校関係者評価委員会、評価を行う「学校関係者」を選任する。

### (4) 評価方法

当該年度の学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価することを基本とする。

#### 【ポイント】

- ・自己評価の結果の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・学校の重点目標や自己評価の評価項目等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取組が適切かどうか

### (5) 評価期間

2017年度（2017年4月1日～2018年3月31日）

### (6) 評価結果

①評価結果や今後の改善方策等について取りまとめて公表する。

②自己評価の改善方策の検討において活用、次年度の重点目標の設定や具体的取組の改善を図る。

## 2 学校関係者評価委員会

日時：2018年7月31日（火）15：00～16：20

会場：ジェイ ヘアメイク専門学校 6階 J`1 教室

参加：学校関係者評価委員4人名、及び学校職員3名 合計7名 ※敬称略・順不同

飯高 健 / 有限会社プライマル 代表取締役 / 平成29年4月1日～平成31年3月31日（2年） / 近隣住人

中原 章統 / 株式会社セイファート キャリアデザイン事業部 部長

/ 平成29年4月1日～平成31年3月31日（2年） / 企業等委員

永井 信之 / 一般社団法人 日本美容師連盟 / 平成29年4月1日～平成31年3月31日（2年） / 業界団体

前田 毅 / アイ エステティック専門学校 校長 / 平成29年4月1日～平成31年3月31日（2年）

/ 専門学校校長

田村 英介 / ジェイ ヘアメイク専門学校 校長

金川 盛一 / ジェイ ヘアメイク専門学校 教頭

長山 雅美 / ジェイ ヘアメイク専門学校 副部長

## 3 評価

（1）評価項目について、学校関係者評価委員が評価を行う。

評価：4：達成度80%以上、3：達成度60%以上、2：達成度30%以上、1：達成度30%未満

（2）評価、意見、改善方策を記載する。

## 4 評価項目

1. <教育理念・目標>
2. <学校運営>
3. <教育活動>
4. <学修成果>
5. <学生支援>
6. <教育環境>
7. <学生の受け入れ募集>
8. <財務>
9. <法令の遵守>
10. <社会貢献・地域貢献>
11. <国際交流>

## 1. 学校の教育目標

ホスピタリティ精神を持ち、美容技術を身に付けた人材の育成

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

新カリキュラムの導入と学生指導の見直しから着手する。

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

1. <教育理念・目標>			適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				評価委員のご意見
1	1	学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育成人材像は明確に定められているか	④	3	2	1	・特になし
1	2	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	③	2	1	
1	3	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか	4	③	2	1	

今後の対応案

1-2 企業と連携をし、必要な職業教育の意見交換を行いながら教育内容の充実と特色の明確化を進めていく。

1-3 保護者への説明会を1年次だけでなく、2年次も実施する事で学校への理解と学生指導の協力体制を築いていく。

2. <学校運営>			適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				評価委員のご意見
2	1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	③	2	1	・特になし
2	2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	③	2	1	
2	3	学校運営に関する（事業計画、予算編成、教育活動等）に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	④	3	2	1	
2	4	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか	4	③	2	1	

2	5	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
2	6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1

今後の対応案

2-4 就業規則の一部改訂がなされ、今後もより働きやすい環境を議論していく。

2-4 意思決定までの会議設定や、職員間の情報共有がスムーズに行くように環境を整備していく。

3. <教育活動>			適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				評価委員のご意見
3	1	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職後の職場でみていると、ONとOFFの切り替えが苦手な子がいる。</li> <li>・ONとOFFの切り替えは美容室で働くうえで必要だと思う。</li> <li>・学校でも厳しさと楽しさなどメリハリのある指導が必要</li> <li>・学生へ言葉使い、モラル・マナー・サービスの指導が必要。</li> <li>・現場でも新入社員へのケアを重視しており、先輩社員からは甘やかしすぎだとの意見もある。ただ昔の厳しい指導だけではなく、じっくり育てていく事も必要。</li> </ul>
3	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	③	2	1	
3	3	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	③	2	1	
3	4	講義及び実習に関するシラバスは作成されているか	4	3	②	1	
3	5	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか	4	③	2	1	
3	6	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか	4	③	2	1	
3	7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1	
3	8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1	
3	9	人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1	

3	10	各種美容団体、協会、企業との連携による優れた教員（本務・兼務含む）を確保するための活動が行われているか	4	③	2	1	
3	11	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1	
3	12	カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか	4	③	2	1	
3	13	講義に関し養成施設の指定条件、指導要領に則したカリキュラムが実施されているか	4	③	2	1	
3	14	実習に関し養成施設の指定条件、指導要領に則したカリキュラムが実施されているか	4	③	2	1	
3	15	学習意欲があるかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか	4	③	2	1	
3	16	学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか	4	③	2	1	

#### 今後の対応案

3-3・4 新カリキュラムに対応したシラバスを2018年度中に作成し、情報公開と学生指導への活用も検討していく。  
 3-7 企業との連携を深め、授業運営や学生指導への協力体制を検討し、意見交換をしながら次年度の教育活動に活かしていく。

4. <学修成果>			適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				評価委員のご意見
4	1	就職率の向上が図られているか	④	3	2	1	・特になし
4	2	資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1	
4	3	入学者に対する卒業率はどうか	4	③	2	1	

4	4	在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか	4	3	②	1	
4	5	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	4	③	2	1	
4	6	教育及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか	4	3	②	1	

今後の対応案

- 4-2 メイクの授業内容と時間数を変更し、最上位の1級を取得できるように指導していく。
- 4-3 中退防止に向け課題を再確認し、学生満足度の向上を図り、学生サポート体制を検討していく。
- 4-4 社会的な活動に参加する機会はあるが、参加した学生の評価や外部への情報発信を検討していく。
- 4-6 講師会議等の内容を充実し、目的や評価項目の確認を行っていく。

5. <学生支援>			適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				評価委員のご意見
5	1	進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか	4	3	②	1	・就職や進路に対する支援体制は何か取り組まれているのか？
5	2	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1	
5	3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	③	2	1	
5	4	学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1	
5	5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1	
5	6	学生の生活環境への支援体制は整備されているか	4	③	2	1	
5	7	保護者との連携は適切か	4	③	2	1	
5	8	卒業生への支援体制はあるか	4	3	②	1	
5	9	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1	

今後の対応案

- 5-1 就職活動における企業連携を深めて学生支援体制を強化し、保護者説明会の開催も検討する。
- 5-8 卒業生への相談に対し支援はしているが、今後は支援体制の整備を図っていく。

6. <教育環境>		適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				評価委員のご意見	
6	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	④	3	2	1	・国内外の美容関連企業と連携した実践的な教育プログラムとはどのような内容ですか？
6	2	防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1	
6	3	実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか	④	3	2	1	
6	4	美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか	④	3	2	1	
6	5	自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか	4	③	2	1	
6	6	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか	4	3	②	1	
6	7	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て（スケジュール管理）が明確になっているか	4	③	2	1	
6	8	国内外の美容関連企業と連携した実践的な教育プログラムを提供しているか	4	③	2	1	

今後の対応案

6-5 就職活動や自主学習で利用するパソコンを2019年3月に入れ替え、より利用しやすい環境を整える。

6-6 学校施設・設備等の管理は行っているが、学校が設立して3年がたつので、点検を行っていく。

7. <学生の受入れ募集>		適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				評価委員のご意見	
7	1	学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1	・特になし
7	2	学納金は妥当か	4	③	2	1	
7	3	障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか	4	3	②	1	

今後の対応案

7-3 特別な措置や対応が必要な学生の受け入れ実績がなく、対応を定めてはいないが、今後は想定して対応を検討していく。



8. <財務>			適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				評価委員のご意見
8	1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	②	1	・特になし
8	2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1	
8	3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	③	2	1	
8	4	財務情報の公開の体制整備はできているか	4	③	2	1	

今後の対応案

8-1 中期的な学生募集の強化計画をたて、学生数の増加に努めていき、安定した財務基盤を目指す。

9. <法令等の遵守>			適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				評価委員のご意見
9	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	③	2	1	・特になし
9	2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1	
9	3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	③	2	1	
9	4	自己評価結果を公開しているか	4	③	2	1	
9	5	教職員の職位区分を明確にし、職責に応じて評価しているか	4	③	2	1	
9	6	評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか	4	③	2	1	
9	7	教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方等が書類として存在するか	4	③	2	1	

今後の対応案

9-2 個人情報のファイル管理やデータ管理を再確認し、学生に対しても SNS 等の利用における注意喚起を行っていく。

10. <社会貢献・地域貢献>			適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				評価委員のご意見
10	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1	・特になし

今後の対応案

10-1 学生が自発的に活動できる環境を考えていく。

11. <国際交流>			適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				評価委員のご意見
11	1	留学生への美容サービスの提供などを通じて積極的に留学生との交流を図っているか	4	3	②	1	・特になし
11	2	海外の一流講師によるセミナーへの参加や学内への招へいを積極的に行っているか	4	3	②	1	

今後の対応案

11-1 留学生との交流機会を企画し検討していく。

11-2 海外で活躍する企業や講師をお招きしてのイベントを企画していく。